

平成24年度第2回 札幌市国民健康保険運営協議会の概要

1 日 時

平成24年(2012年)10月3日(水曜日)午後6時～午後7時34分

2 場 所

札幌市役所 12階 3号会議室

3 出 席 者

(1) 運営協議会委員

14名のうち11名出席

(2) 事務局

保険医療部長、保険年金課長、健診・医療担当課長、収納対策・後期高齢担当課長他

4 議 題

第1号 平成23年度国民健康保険会計決算について

ア 説明の要旨

- ・平成24年度の国庫支出金等返還金の財源とする「国民健康保険支払準備基金」に積み立てる23億6千万円を除いた歳入歳出の差引はゼロとなり、実質的に収支均衡の決算となった。
- ・札幌市国民健康保険の特徴は、
 - (1) 一人当たり医療費が高い
 - (2) 加入者の所得が低い という2点に整理することができる。
- ・一人当たり医療費が高い理由としては、
 - A 病床数・施設数の割合が高い
 - B 入院受診率が高い
 - C 入院日数が長い という3点に整理できる。
- ・加入者の1世帯当たり平均所得は、政令市の中で下から2番目であり、一般会計から多くの繰り入れを入れて保険料を引き下げている。
- ・重点取組としては、歳出の面からは医療費適正化事業・保健事業、歳入の面からは保険料収納対策に取り組んでいる。

- ・札幌市の特定健康診査の受診率は、政令市の中では下位であり、特定保健指導の実施率も中位である（速報値）。受診勧奨や環境整備を進めることで受診率の向上に努めていきたい。
- ・収納率は現年度一般分で89.15%であり、当初目標の88%を上回った。平成20年度では18市中13位だったが、平成23年度では20市中7位と、大きく順位を上げている。4つの重点項目にしっかりと取り組んだ成果があらわれていると考えている。
- ・口座振替率は低下に歯止めをかけることができた。平成23年3月に導入した「ペイジー口座振替受付サービス」の導入により、新規加入者などに対する積極的な加入勧奨を行ってきた結果と考えている。

イ 主な質疑

- Q. 口座振替の加入率が5割を超えているのは多いと感じるが、どの程度なのか。
- A. 口座振替の加入率は政令市の中でも高い方になっている。一番高いのは名古屋市であり、名古屋市は収納率も一番高い。
- Q. 医療費が高いということと病床数または施設数が多いことが相関するということだが、それだけでは対策を立てられないので、もっと分析を進めるべきではないか。
- A. 今後、医療費等について、もう少し詳しく分析していきたい。

ウ 審議結果

了承。

5 報告事項、その他

(1) 報告事項：平成24年度に成立した法案等に基づく制度改正について
社会保障・税一体改革を中心とした国保関連制度の最近の動向など。

(2) その他：札幌市国民健康保険の広報について

札幌市の国保が発行している広報物について、よりわかりやすい、より使いやすいものとするための検討。